

総務委員会視察研修報告

令和元年11月12日(火)～11月14日(木)

・11月12日(火)午後1時
～
題について説明し、要望・
陳情を行った。

■加藤衆議院議員(農林
水産副大臣)との意見交
換会(農林水産副大臣室)
・農業基盤整備事業につ
いて
・豚コレラ対策事業につ
いて

・農業休耕地対策事業に
ついて
・島原道路早期完成につ
いて

など、本市が抱える諸問



加藤衆議院議員との意見交換会(農林水産副大臣室)

■第24回全国女性消防操
法大会(横浜赤レンガ倉
庫イベント広場)
南島原市女性消防団は、
平成27年に発足し、全国
女性消防操法大会出場を
目標に、南島原消防署職
員の指導のもと、日々厳
しい訓練を実施してきた。
今回、長崎県消防協会
理事会及び評議員会で出
場が決定された。
悲願である本大会出場
ながら、半年間に及ぶ日
々の厳しい訓練に耐え、
大会に臨んだ。初出場な



南島原市女性消防団と総務委員会委員(横浜赤レンガ倉庫イベント広場)

がら、47出場隊中20位と
いう輝かしい成績を収め
られ、敢闘賞を受賞され
たことに、感銘を受けた。
また、南島原市民の安
全・安心を担う女性消防
団として、今後の活躍に
期待したい。

・11月14日(木)午前10時

■神奈川県秦野市
「公共施設の更新問題」
について
全国でも公共施設の更

新問題にいち早く取り組
まれている秦野市の行政
視察を行った。

秦野市の担当職員より、
現在に至る取組みについ
ての説明を受けた。

・個別施設計画の達成率
については、2011年

から2015年までの前
期実行プランは約66%で
あるが、このうち「方針
に基づく効果額」は10
0%となっている。

床面積の削減について
は、すでに令和2年度末

までの目標値を達成して
いるが、シンボル事業に
位置付けている「小規模
地域施設の移譲と開放」
の進捗が思わしくないが、
地域の理解を得ながら徐
々に進めていくことにし
ている。

・デッドスペースの有効
活用については、スペー
スの無駄を解消するため
に、当市からアプローチ
している。誘致に当たっ

ては、新設とするのか、
移転とするのかは特に要
望していないが、結果と
して、すぐ近くに所在し

ていた特定郵便局の移転
という形となったなど、
たくさんの取組み状況に

ついて、研修を受けた。
その中でも、特に意義
深く感じた事項は、左記
のとおり。

○例えば、箱物を減らして
も、それ以上に、人口減
少が進めば住民一人当た
りの負担は、減るどころ
か、増加する。

○公共施設の更新問題は、
できるだけ早く、対策に
手をつける必要があり、

危機が目前に迫ってから
では、市民にも行政にも
大きな痛みを与える。
○行政に都合の悪い情報
も包み隠さず見せるよう
にすべきである。包み隠
さず見せることにより、
政策のエビデンス(証拠)
の宝庫となる。

○再配置に関する方針と
して、原則新規の公共施
設(箱物)は建設しない。
箱物に関しては、一元
的マネジメントを行うこ
と。

この行政視察を終えて、
本市も原点に戻って、市
民中心の市政運営を強く
望み、総務委員会報告と
いたします。



秦野市役所で挨拶をする松永総務副委員長